

中田

東京中田会がふるさと訪問



▲中田町内のリンゴ園を訪れた東京中田会の皆さん

土産は思い出と新鮮野菜

今年で24回目を迎える「東京中田会ふるさと訪問ツアー」が、11月3日から5日までの3日間、中田町内で開催されました。この事業は、ふるさとの自然や温かさに触れてもらい、中田町の魅力をより一層PRしてもらおうと、毎年開催されているものです。今年「なかだの秋まつり」の見学や中田町上沼のりんご園でのリンゴ狩り体験。参加者は、ふるさとでの楽しい思い出と新鮮な野菜をお土産に帰っていききました。参加者の中にはりんごの木オーナーとなった人もいて、来年の秋が楽しみと話していました。

迫

北方小児童絵画コンクール



▲登米市長賞を受賞した小原愛さん（北方小6年）の作品

交通安全をテーマに力作

佐沼地区交通安全協会北方支部主催による「絵画コンクール」が11月7日、北方公民館を会場に行われました。このコンクールは、交通安全をテーマにした絵画を北方小学校の児童から募集し、交通ルールを守り交通事故のない街づくりに取り組みようと毎年実施しているものです。会場には、児童が交通安全を願い、一生懸命描いた絵画が多数並びました。審査員が並べられた絵画を一枚一枚熱心に見ながら、市長賞や佐沼警察署長賞などの入賞作品を選んでいました。応募作品は、12月19日まで北方公民館に展示されています。

作品の展示と芸能発表会

豊里地区市民文化祭が11月3日、4日の2日間、豊里公民館で開催されました。豊里地区の保育園や幼稚園、小・中学校に通う子どもたちの作品や町域内の福祉施設を利用して皆さんの作品が展示され、展示会場は力作でいっぱい。4日には豊里文化協会加盟団体による芸能発表会も行われ、日頃の練習の成果が披露されました。豊里幼稚園、保育園の子どもたちによる「よさこい」や県無形文化財指定の上町法印神楽、豊里よさこいチーム「華幻」の皆さんの友情出演など、盛りだくさんな芸能発表会となりました。

盛りだくさんの地区文化祭

豊里



▲県無形文化財に指定されている上町法印神楽も披露されました

往年の名車が登米に集結

「頑張ろう宮城」を合言葉に、今回で8回目となる「オールドフェスティバルin登米」が10月28日、教育資料館前庭などを会場に開催されました。今回は、60台を超えるクラシックカーが登米町に集結。遠くは新潟県や埼玉県からの出展者もいました。会場では、車のオーナーが自慢の愛車の整備方法などについて熱く語り、観客も往年の名車を懐かしんでいました。また、石巻市の復興商店街などで活躍している雄勝町出身のオリジナル復興バンド「THE TIPS」のライブなども催され、大盛況の一日となりました。

オールドフェスティバル開催

登米



▲会場となった教育資料館前には往年の名車が勢ぞろい

米山

イベントいっぱい秋まつり



▲米山中学校の生徒によるステージ発表

2日間、大いに盛り上がる

第7回ふるさとよねやま秋まつりが、10月27日、28日の2日間、米山総合支所などを会場に開催されました。会場では、商工祭や菊花展をはじめ、ステージ発表、ふれあいこども広場コーナー、ちびっ子相撲大会など盛りだくさんのイベントが催されました。中でも、ふれあいこども広場コーナーは人気で、巨大滑り台や縁日コーナーには常に行列ができ、準備した景品が予定時間よりも早くなくなるなど大盛況でした。2日目は、あいにくの雨模様でしたが、訪れた人たちは秋の収穫に喜びながら楽しいひとときを過ごしていました。

東和

総合支所を会場に秋まつり



▲スコップを栓抜きなどで叩いて演奏するゲストの「スコップーズ」

豊かな秋の恵みを楽しむ

東和の秋まつりが11月4日、東和総合支所西側特設会場で開催。ステージでは、町内の小中学生による合唱や踊り、文化協会の皆さんによる芸能発表が行われました。特別ゲストには石巻市の「スコップーズ」を招き、スコップを使った三味線ショーなどが行われ、会場はたくさん拍手と笑い声であふれていました。総合支所内には小中学校や恵泉会、文化協会の皆さんの作品が多数展示されたほか、農林産物販売や東和中の起業販売コーナーなどたくさんさんのテントが出店し、市内外から訪れた大勢の来場者でにぎわいました。